

5月

昭和52年1977

横浜市関係

- 2—市民の目委員会、望ましい窓口業務のあり方など二問題の中間報告を公表
- 3—第二回横浜みなと祭仮装行列
- 5—緑政局、環境保全のための農業緑地要綱の一部を概ね一〇アールに緩和
- 6—市会第七委で大場助役、水道局長、職員汚職問題で陳謝。また交通局長、同委研究会で地下鉄一号线の戸塚駅を国鉄戸塚駅下に設置と報告。▽港北区の第二北田湯で主婦水死、目撃者は帰宅し不明
- 10—総務局長、市会接収解除促進委へ横浜スタジアム建設に伴うチャペルセントアールの一部返還を六月上旬予定と説明
- 13—市会野島対策委で総務局長、昨五十二年の六者会談提案は進展みずと説明
- 17—市長、市会全員協議会で「新五カ年指標（案）」を説明
- 18—五月定例会市会始まる。都市開発局の改廃を含む機構改革に伴う事務分掌条例の一部改正案など三二件を上程。▽港南区区民の集い、新五カ年指標と五十二年度予算について市長出席で討論
- 20—市会第五委、市営住宅の割増家賃限度額を五十二年十二月から廃止を可決
- 21—水道局、課長を含む一五三人を異動
- 23—市会第七委、水道局北部配水管理所の汚職事件を追及、「調査委」設置見送る
- 24—市会第四委で道路局長、残土再利用

自治体・国・社会

- 1—総理府統計局、五十一年十一月現在の人口推計一億一三〇九万人、戦後生まれ初めて半数超す。2—参院本会議海洋二法を可決成立。3—自治労神奈川県本部を中心に「神奈川県地方自治研究センター」発起人総会。▽憲法記念三〇周年の集会在各地で開かれる。4—厚生省、五十一年麻薬白書発表。大麻検査者最高、覚せい剤戦後第二の乱用禍時代。6—横浜、川崎などタクシー料金二キロ、三三〇円に値上げ。▽空港公団、成田空港の反対派鉄塔撤去。7—国税庁、戻し税、六月一日から施行。▽成田空港鉄塔撤去の抗議集会で負傷者四〇〇人超す。10—大洋球団横浜誘致に反対する川崎市民総連合代表者会議、ハガキ作戦選択。13—川崎市公害きよ出金改正で、企業負担は半永久的に。▽水産庁、二〇〇カイリによる魚異常高値で放出を通過。16—建設省、線引きの遅れで都道府県へ通達。18—厚生省、医薬分業進捗調査の分業率二一・六％。▽東電、料金一円不払運動の五世帯に配電停止措置。20—衆院地行委で運輸省、車いすのバス乗車、ヒモの固定で暫定承

6月

昭和52年1977

横浜市関係

- プラント建設用地を港北下水処理場へ変更と表明。▽「大洋球団の横浜誘致に反対する川崎市民連合」代表者、市長不在のため大場助役へ陳情。▽市会議運理、正副議長留任
- 27—開港記念バザー「蒔田公園」で始まる
- 31—市会本会議、事務分掌条例の一部改正案などを議決。また市長、横浜スタジアム建設は五十三年三月には間に合、大洋球団問題は、川崎市と共存する方法もあると示唆。
- 1—市会本会議、各常任委員会、実行委員会の正副委員長選出、「北方領土返還促進に関する決議」をするなどして閉会
- 2—市民ホールで開港一一九年度式典
- 3—福祉の風土づくり推進委員会『みんなの福祉』新書版、二万部を市民へ配布
- 8—緑下水処理場（能力八五万人）が完成、全市の水洗化普及率二九％。▽横浜市、県の協同行政「公害研究合同発表会」が県政総合センターで開催
- 10—市民福祉、市民活動、都市づくりなどのための局・区長、部長、課長級五三八人の人事異動、総務局長に西脇巖
- 14—「大洋球団の横浜誘致に反対する川崎市民連合」代表一〇人が五四万人の署名簿をつけ市会議長へ陳情

自治体・国・社会

- 認。22—五十二年三月、社党を離党し社会市民連合を結成した江田三郎氏急死。23—全国市長会、五十一年度決算見込で一〇五市が赤字団体。24—五十一年度環境白書「環境保全への新たな対応」公表。27—横浜地裁、厚木市内で起った幼児の「ドブ川」訴訟で神奈川県へ管理責任の判決。31—全国市会議長会総会、国へ行財政の改革を要望。
- 1—横浜国際会議場で神奈川県市長会議、知事と医療体制など論議。▽三浦市のヨット・モーターボート税の年度内納税は三〇％。3—横浜のプロパンガス業者が東京瓦斯を相手に「拡張で営業基盤失う」と訴訟。4—神奈川県地方自治研究センターが正式にスタート。7—鎌倉市議選の一票差で落選した元市議らの異議申し立て、再点検で持ち帰り票と思われた九二三票発見される。8—文部省、授業時間一〇％減の新学習指導要領発表。9—第八〇回通常国会終る。10—河川審議会、第五次治水五カ年計画了承、鶴見川も重点整備。13—国税庁、五〇年分確定申告所得

- 17―中国を訪問中の市長、上海革命委員
会へ横浜で行う「上海展」の協力を依頼
- 21―管理職異動に続き、市長部局、消防
交通局を含めた係長級九〇三人を異動。
- ▽五十二年四月、緑区のため池に小学生
二人が転落死した事件で、両親が市を相
手どり二、四〇〇万円の損害賠償を横浜
地裁川崎支部へ提訴
- 24*―道路局、周辺部の歩道橋二六基の清
掃を老人クラブと委託契約
- 25―経済局が呼びかけた初の「魚の日」
- 26―戸塚区矢部町など柏尾川周辺の住民
が「戸塚から水害をなくす会」を結成
- 27―市公害対策審議会、窒素酸化物総量
規制についての段階的削減計画を答申。
また、新たに環境影響評価制度（環境ア
セスメント）について諮問
- 28―市長、二十七日に中国訪問から帰国
後初の記者会見で、五十四年に横浜、大
阪で開く「中国展」について五十三年春
までに事務的合意がなされよう」と表明。
- 1―五十二年六月一日現在の人口、二百
六八万八、〇八四人、前月比五、五一一人
増
- 4―戸塚区本郷出張所、同中和田出張所、
緑区山内出張所を支所に昇格。▽市大病
院、レントゲン技師の人員要求で技師の
夜間待機当直「ポイコット」三カ月に及ぶ
- 6―消防局などによる米軍鶴見貯油施設

- 調査で自営業のうち個人病院が
二年連続脱税ナンバーワン。14―
神奈川県教育長、県政調査会文
教部会で横浜スタジアム建設に
伴う県立武道館移転の受け入れ
を示唆。15―大洋球団社長、川
崎市長を訪問後の記者会見で態
度表明の延期を語るが横浜へ移
転をはのめかす。▽環境庁、工
場、事業所などの窒素酸化物第
三次排出規制を決定。▽有田市
で真性コレラ患者発生。17―第
一回参院選公示。20―三浦市
長選、野上義一氏、横須賀市長
選、横山和夫氏がそれぞれ当選。
- 23―環境庁、「地方公共団体の
環境保全対策調査」で福岡、川
崎市など七州市が制度化実施、
二〇〇市が関係条例など運用、
二三都道府県、政令市が制度化検
討中と判明。29―法制審議会、
一八―九歳を年長少年とする特
別区分など少年法改正を答申。
- 1―川崎市、環境影響評価条例
施行。2―有田市のコレラ汚染
解除をWHOに報告。4―千葉
県教委、教員の家庭教師などア
ルバイト禁止通達。5―大阪の
小学校女教諭、愛人と車で盗み
回り逮捕される。7―文部省、「ヤ
ミ寄付金問題」で愛知医大を事

- の初立ち入り検査を実施
- 7―機構改革に伴う事務所の大幅な移転
が終り、新事務所業務開始
- 10―参院選挙投票日
- 11―神奈川県警、参院地区片岡派の文
書違反の容疑で杉山新八、寅田竹茂両市
議を含む五人を逮捕
- 13*―平和球場のスコアボード、藤沢市営
鶴沼球場で「第二の人生」
- 14―市長、定例局区長会議で成田社会党
委員長辞意表明に関連した「次期社会党
委員長説」で「軽々しい行動はしない」
と所信表明。▽市と市社会福祉協議会、
社会福祉総合センターの建設問題を検討
してきたが社協による民立民営で合意
- 17*―消防局、タンク用保安検査車配備
- 18―京急鶴見駅周辺の高架化工事起工式
- 19―市社会教育委員会、社会教育の構
造化と振興策で図書館など充実の意見書
- 21―産貿センターに県国際交流センター
- 22―市会七月臨時会が始まる。▽市会第五
委で建築局長、五十二年度計画の戸塚区
鳥ヶ谷住宅計画用地価格がおりあわな
いなどで断念と報告
- 23―消防局、米軍鶴見貯油施設への立ち
入検査結果で国へ改善要求出したと報告
- 25―市会第一、四委員会、婦人会館工事
契約など可決
- 27―県都市計画地方審議会、東京湾岸道
路了承、ベイブリッジ本決り。▽市会七
月臨時会閉会。

- 情聴取。10―第一回参院選及
び東京都議選投票日。11―参院
選、神奈川県下の投票率六〇・
七四％で全国平均六八・四九％
に比べて最低。▽参院神奈川地
方区、河野謙三（無前）、片岡勝
治（社前）当選。▽第九回東京
都議選、美濃部知事の与党が過
半数を割り「与野党逆転」。12―
参院選、自民善戦、社、共不振。
▽車いすで参院選へ立候補した
八代英太氏当選。13―全国知事
会地方財政問題研究会、国へ出
先機関や事務整理をせまる。▽朝
鮮非武装地帯で米軍ヘリ墜落さ
れ四人死傷。14―慶大理事會、
入試漏れ事件で二教授を解雇
- 19―政府、公共事業早期発注促
進で、地方自治体の工事契約の
限度額を引き上げる地方自治法
施行令を改正。21―米価審議
会、五十二年産米産者米価の
答申不能。22―全国知事会、
地震対策で特別委員会設置。25―
神奈川県藤野町長選、鈴木重成
氏当選。27―政府、消費者米価
九・八％引き上げ決定。28―参
院本会議、安井謙議長（自）、加
藤実副議長（社）のコンビ選出。
- 29―神奈川県副知事と市町村の
助役が新神奈川計画中心に懇談。
▽鎌倉市選管、市議選の大量未
開票事件で当落に影響なく有効
と異議棄却。

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。*印は日付不確定のため新聞発行日。